



ふちゅうこくさいこうりゅう ふちゅう す  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

# くろするる〜ど

2021 / 11月号 第265号

かいほうし  
会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



〜サロン月間カレンダー11月〜

「令和3年度サロンの行事について」

コロナウイルスの感染状況が収まってきたので、10月に続き下記の日程で定例の日本語学習会を開きます。実施にあたっては、これまでのように感染防止対策をしっかりと守るようお願いいたします。なお、学習会を休止する場合は、追ってお知らせします。

令和2年から続いた新型コロナウイルスにより、教授法研修会、バス研修会、バーベキューの集いなど、サロンの行事の多くは中止されました。今後の行事については、以下のとおりに決定しました。

## ■定例日本語学習会

日時：11月1日（月）～12月24日（金）  
月・午前10時～昼12時 午後2時～4時  
水・午後2時～4時  
金・午後2時～4時 午後7時～9時

## ■「サロンの集い」

例年11月か12月に行われる「サロンの集い」は昨年に続き、今年の開催も中止と決まりました。世界のお料理、アトラクションがあり、皆が歓談する楽しい集いですが、残念ながら今年も中止です。

\*学習時間は2時間までとし、短縮については各部会で調整。また、学習室の人数制限は解除します。

## ■「日本語学習発表会」

毎年3月に予定されている「日本語学習発表会」も、中止が決まりました。

## ■実行委員会

日時：11月10日（水）午前10時～昼12時  
場所：サロン学習室

9月末で、緊急事態宣言が解除され、学習会も10月4日から始まりましたが、「日本語学習発表会」は、準備に時間がかかることなどを考慮して、実行委員会で中止が決定しました。

## ■研修部会「勉強会」

日時：11月24日（水）午前10時～昼12時  
場所：サロン事務局・託児室  
定員：15名

## ■「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」

延期になっていましたが、12月4日（土）に実施することとなりました。詳しいことは、「みんなの広場」をご覧ください。（編集部）

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



# 世界の文化

「さよならの時間もちかづいてきました  
ご支援を深く感謝いたします」

ディルシヨド クボンディコフ (ウズベキスタン)

こんにちは。今月府中国際交流サロンに来てちょうど2年間になりました。この間、サロンは私を大いに助けてくれました。日本語と文化を学びました。日本の生活についてたくさんのアドバイスや相談をもらいました。新型コロナウイルス時代にもかかわらず、私はいつもサロンの助けを感じました。

本当にサロンは私の家族にもとっても大きな助けてくれました。家族を日本に招待するとき、サロンは私を直接助けてくれました。サロンのおかげで、私の家族も日本で一年間ぐらい楽しんで住んでいます。



さよならの時間も近づいてきました。日本で私たちの生活はとても興味深く、新しい文化を学ぶことでとても有意義でした。ですから、時間がどれほど速く経過したかにさえ気づきませんでした。

サロンの皆様のご厚意、おもてなし、ご支援を心より感謝申し上げます。あなたの助けを借りて、外国人は暖かく、世話をしていると感じます。故郷から遠く離れているにも関わらず、快適に住んでいます。サロンのボランティアは私たちから見返りを期待することなく、日本語を教えてくださいました。心より感謝申し上げます。サロンの皆様の、特に桑島さ

んや野川さんのご親切に対し深く感謝の意を表します。

私たちはウズベキスタンであなたを待っており、最も著名なゲストとしてあなたを歓迎します。時間と機会があれば是非ウズベキスタンを訪れてください！

またお元気で会いましょう！



私のふるさと ~36~

「ふるさとを語る」

金曜夜ボランティア 若狭 裕

「ふるさと」と言うと、「兔追いしかの山、小鮎釣りしかの川、・・・」で始まる小学唱歌のメロディーとともに子供の思い出が浮かんでくる。漢字では古里、故郷、故里などと書くが、いずれも「自然に囲まれた環境のなかで、生まれ育った頃を懐かしむ」思いが込められていると思う。

私は、物心ついてから高校を卒業するまで、少年時代を横浜で過ごした。横浜といっても、私が育った所は「港横浜」ではなく、現在の新横浜駅(東海道新幹線)の近くで、当時は一面田んぼが広がる田舎であった。その頃の少年の遊びといえば、野山を駆けまわったり、魚釣りやトンボ取りに熱中するなど自然相手の遊びが多かった。トンボはギンヤンマ、蝉はミンミンゼミ、魚はフナ、などが子供ながらに価値が高く見え、捕まえたい一心でその生態を研究した。また、ツクツクボウシの鳴き声を聴くと、夏休みの宿題に追われたことを思い出す。このように、私の「ふるさと」では自然に囲まれた日常の遊びを通して、四季の変化や自然の営みを知ることができた。

10数年前の事になるが、新横浜駅の近くに行く機

会があった時、自宅のあった付近を訪ねてみたことがあった。開発が進んでいて私が少年時代を過ごした当時の面影は全くなかった。1964年東京オリンピックに合わせて開業した東海道新幹線が通り、高速道路が整備され、新横浜駅の周りは高層ビルの立ち並ぶビジネス街となり、新横浜都心として発展し変貌を遂げていた。私の「ふるさと横浜」はなくなってしまったが、少年時代の懐かしい思い出として残っている。

私が府中に住んで60年余りになる。自宅付近には、武蔵野公園、野川公園、武蔵野の森公園があり、これらに添って流れる野川の周辺には、自然が多く残っている。健康のために野川沿いを毎朝散歩するのを日課としている。私の散歩道では、いろいろな昆虫、野鳥、植物などを見かけるが、これらの自然が見せる四季折々の表情は、生まれ育った「ふるさと」と重なる事も多い。私にとって、ここ府中は第2の「ふるさと」である。



中学時代の若狭さん 前列左



当時の菊名町の風景

みな

がくしゅうしゃしょうかい

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

ビラマヒレ ビヤンベニさん (ルワンダ)



## 「焼き芋と演歌が大好きです」

Biramahire Bienvenu という名前が長いので、ニックネームはB2です。

2017年4月東アフリカに位置するルワンダの首都キガリから、日本で勉強するために来日しました。

ルワンダ大学の農学部を卒業し、東京農工大学の研究生として勉強をはじめました。その後修士課程を経て、現在博士課程で勉強しています。

「最適化された、踏みつけによる植物の生長の管理」をテーマに研究しています。クリーピングタイム、ワルナサビ、カヤツリグサ等で、除草剤や剪定をせずに、踏みつけることで、雑草が生えないという実験で同時に植物の高さ、普及範囲、土壌の水分量、温度、硬さなどのデータを集めています。

趣味は散歩、読書、音楽を聴くことです。特に演歌を聴くのが好きです。そして、最近では梶芽衣子の歌も好きで聴いています。

将来の夢は、日本とルワンダの架け橋となるような仕事が出来ればと思っていますし、自分の会社を経営したいと考えています。

好きな日本語は、何か始める時や、これでよしというときの「よし！」という掛け声です。

日本の食べ物で好きなのは、焼き芋です。アパートで自炊をしていますので、好きなみそ汁も作っています。(取材・文構成 堤 林)



とう こう  
**投◇稿**

か おも  
**「コロナ禍について思う」**

きんようご ご よしむら こ  
**金曜午後ボランティア 吉村 まみ子**

ぜんだいまもん よ なか せかいじゅう ひとひと かあん きなか  
前代未聞の世の中、世界中の人々が不安の最中に  
います。私もその一人としてワクチンを受けました。  
孫たちとコロナ禍の話をしったりしています。今まで  
の体力を維持する為にズンバ、ストレッチ、多摩川  
の散歩、この頃は少しずつ映画、音楽会、親しい友達  
とお話をししたりしています。

オリンピック、パラリンピックも終わりました。  
コロナ禍の最中、賛否両論ありました。しかし、レ  
ガシーとして歴史に残るのです。アスリート達の  
一生懸命に演技をする姿には感銘を受けました。五  
体満足の私達は頑張らなくては、と思いました。国  
際交流で私の友人がロサンゼルスから来日。酷暑の  
中のボランティア、ご苦労さまでした。

\*『コロナ禍の暗号』村上和雄【著】 幻冬舎

この本に世界がコロナ禍に至った経過と科学的、  
学問的に人間はどうすべきか書かれている事を紹  
介したいと思います。

新型コロナウイルス感染症、COVID - 19の出現が  
ニュースで報じられました。中国で感染が発見され  
たあと、あっという間に世界中に広がりました。2021  
年4月現在、世界の感染者総数は一億人を超え死者  
も290万人を超えてしまいました。世界の人口は約77  
億人、世界中77人に1人が感染し、大きな戦争の戦  
死者にも匹敵する人命が失われたパンデミックと  
は、経済、社会、政治、文明上の大事件なのです。

これだけ医学が進んだのに、しかも医療環境が整  
ったはずの先進国においてなぜパンデミックが起こ  
ったのでしょうか。

ウイルスがまさに新型であり、感染力が強いもの  
だったからです。新型とは文字通り今迄に人類が出  
会った事のない未知のウイルスである事を意味して

います。もともと人間の身体には外から侵入してき  
た細菌やウイルス(抗原)に対して抗体とよばれる  
物質を作り出しそれを血液中に分泌して防御する  
働きがあります。抗体は外部からの侵入者が身体の  
中で勝手に振る舞うことのないよう捕えて排除する  
役目を担っています。我々の身体に病原体(抗原)が  
侵入すると免疫系はその病原体に特異的に結合で  
きる抗体を作り出しウイルスが増殖しないように  
必死で防御します。抗体は長期間、体内に保持され  
病気によっては数年から一生持続するものもあり  
ます。

外部からの侵入者に対して抗体の産生を促し、  
身体を守る機能を免疫と呼びます。今回の新型ウイ  
ルスに対しては多くの人がこの抗体を持っていなか  
った。このように自然に抗体や免疫が作動しなかつ  
た時、人為的に細菌やウイルスへの抵抗性を持たせ  
るのがワクチンです。ウイルスを無毒化、弱毒した  
ものを感染前に接種することにより、意図的に免疫  
を獲得させるのです。

世界的に有名なイギリスの霊長学者、ジェーン・  
グドール博士は新型コロナウイルスのパンデミック  
は人間が自然を無視し動物を軽視したことに原因が  
ある、と指摘しています。

そして私達は自然の一部であり自然界に依存し  
ており、それを破壊することは子供達から未来を奪  
うことに他ならない、と語っています。

地球はヒトのために存在しているのではありませ  
ん。これまでヒトは地球がヒトのためにあるものと  
考え、好き勝手に蹂躪してきました。その結果、  
突入してしまった生態系の新たなステージ、「人新  
生」であるとも言えます。

私はコロナ禍は、地球や自然「サムシンググレー  
ト」がヒトの為にのみ存在しているのではないとい  
うメッセージに思えて仕方ないのです。

(編集部 注・サムシンググレートとは「神」  
や「仏」や「天」などと呼ばれる人間の世界を超え  
た偉大な存在の事。)

# 「東京オリンピック 二度の聖火リレー」

金曜夜ボランティア 榎本 フミ子

オリンピックが東京で行われると決まった時、ふと昔、夢見た事を思い出しました。

1964年の東京オリンピックの時、聖火ランナーに選ばれ、聖火を持った人、予備トーチを持った人、旗を持つ私達20人位で小金井街道を府中第二小学校あたりまで走りました。

その時オリンピックがもう一度、東京で行われる事になったら、聖火を持って走りたいと思ったことを。

2019年に聖火ランナーの募集があり、聖火を持ち、走る事ができるランナーに選ばれましたがその時の気持ちは忘れられません。それは選ばれた人にメールが入る予定の頃、携帯を迷惑メールが入らなくなるよう設定してしまった為、意思確認のメールが届かなかったのです。

なかば、あきらめていた時、急に知らない番号から何回も何回も電話が入ったので、こわごわ掛け直してみると「あと数日で連絡とれなければ・・・」と言われチャンスを逃すところだったのです。

その後、コロナが流行し、オリンピックも一年延期になった為、元気でいなければと気を使いました。さぞかしオリンピック選手の方々も心、体調を維持し続ける事は大変だったと思います。

2021年3月25日、コロナ厳戒の中、聖火リレーがスタートし、一万人の走者が全国をまわり、都内は無観客、公道走行中止で15日間かけて62区市町村を巡り、私達がつないだ聖火が7月23日の開会式で、国立競技場の聖火台に点火され明るい炎をあげ世界中の人々に感動を与えたと思います。

私も走る事は出来ないままですが、トーチキスのセレモニーで家族4人までが見る事ができ、たくさんの人に助けられ無事に大役をはたすことができました。

オリンピックは平和の祭典、世界を一つに夢と

希望をつなぐ架け橋、その中にちょっとでも参加できた事を誇りに思います。

たくさんの夢を持つ事、未来の自分に向けて努力し、希望を持ち続けて欲しいと思います。



トーチを持つ榎本さん



聖火リレーセレモニー



# わたし 私の☆つばやき

わたし  
私、げんきです

げつようごぜん ボランティア よしむら えみ こ  
月曜午前ボランティア 吉村 恵美子

きのう 2019年の年末にベトナムに帰ったクエンさんから久しぶりにSNSでメールがきました。

クエンさんは特別技能者として八王子市の建設会社で働きながら、熱心に毎週休まず五年間、日本語を勉強しました。彼は覚えた日本語を活かして、日本にいたときと同じようにベトナムでも建築の仕事をしています。

今、彼の住む地域は外出禁止で、外出は会社と仕事場の行き帰りだけです。会社に泊まり込んでいて「二か月間、奥さんと幼いお嬢さんに会えなくて寂しい。コロナのワクチンが足りないので、まだ一回しか打っていない。」とも言っていました。自分も不安なのに「先生、元気か。」と私の心配をしてくれていました。私もクエンさんが元気に過ごしていることを知って、気持ちが明るくなりました。

皆さんのなかにも、家族や友だちに自由に会うことができない人もいます。

皆さんもメールやビデオ通話などで、家族や友だちを安心させてあげましょう。

## コロナ禍の清涼剤

げつようごぜん ボランティア さきざき あやこ  
月曜午前ボランティア 笹崎 綾子

この夏は新型コロナウイルスが猛威を振るいましたが、良いニュースもありました。アメリカ大リーグ、大谷翔平選手の活躍です。“二刀流”と言われるピッチャーとバッターの両方をやってしまう選手です。惜しくもベブルース以来の10勝以上のピッチングはできませんでしたが、ホームラン46本、100打点、26盗塁という偉業を成し遂げました。彼はヒットにならなくても、一塁まで猛ダッシュします。フォア

ボールで打たせてもらえなくても、ニコニコしています。ゴミが落ちていれば拾って自分のポケットにしまって後でゴミ箱に捨てます。

私は野球についてそんなに詳しくありませんが、やはり同

じ日本人として誇らしいです。来年はピッチャーとして10勝以上、バッターとしてホームラン王、塁に出れば盗塁、そしてピッチャー以外の野手としての活躍を期待したいです。そして大谷選手だけでなく、他の日本人選手も活躍して更なる日本人旋風をアメリカ大リーグで巻き起こしてほしいです。



## 1年半ぶりの活動再開に向け

げつようごご ボランティア かわぐち てつや  
月曜午後ボランティア 川口 哲也

都の緊急事態宣言が解除され、働いている会社も少し落ち着き、二回目のワクチン接種を打ち終えてから2か月たち、そろそろサロンに顔を出しても良い頃あいかと思いつき、その旨、養生部会長に打診し、10月11日、とうとうサロンの活動に、1年半ぶりで復帰しました。

思えば、この間、サロンの皆さん同様、私の身にも様々な事がおこり、仕事の浮沈は当然としても、大切な人を二人も、実の父親と大学時代の恩師を相次いで、見送ることになるなど、どちらかという、あまり良いことはありませんでした。

それでも仕事の合間のテレワーク中に、健康維持のため、一日1時間のウォーキングを課して、体重を3キロ落とし、日本語学習支援のレベルアップのため、日本語教師養成講座420時間コースを受講し、修了することができました。

還暦過ぎて、何かを真剣に勉強するとは思いませんでしたが、案外、やってみると、サロンでの活動が、大いに助けとなって、苦しくとも楽しく、やり遂げることができたと、今、しみじみ思います。

聞けば、コロナ下での、最近のサロンの活動が縮小傾向にあるようですが、これを機に、5年前のニューカマーの時の初心にかえって、多少モデルチェ

ンジした仕様で、活動を再開したいと思いますので、ボランティア、学習者の皆さん、また、どうぞ宜しくお願いいたします。

## ひさ さいかい 久しぶりの再会

きんようごご 金曜午後ボランティア あらき じゅんこ  
荒木 順子

9月30日。関東地方に台風が来るという天気予報の中、ベトナムのニア君、ホアさん、ナアちゃん一家と1年ぶりの再会。

ニア君とサロンで出会ってから長いお付き合いになりました。二人が一時帰国した時には、誘われてご両親にも会い、ベトナム流のおもてなしで親戚一同が集まった大宴会を開いていただきました。

ホアさんが出産のため一年間単身帰国。コロナ禍の影響で再入国がなかなか出来ず、昨年10月ようやく親子対面、二週間の待避期間をおいて慌ただしく引越でした。

バス停に出迎えてくれたニア君とナアちゃん。伝い歩きがやっとだったのに、しっかり小さな靴で歩いています。

見晴らしの良い部屋は、子供の物がいっぱい。保育園では日本語、家ではベトナム語、ビデオのアニメや歌、本棚の絵本は英語。これってまさに英才教育？頭の中が混乱しないのだろうか？

パパとママ、どちらが自分に甘いのかもちゃんと理解している。恐るべし2歳児の感性。でもやはりママが一番。カルガモの親子のようにママのお尻にピッタリ。始めは不審者が侵入してきたといった感じでしたが、帰る少し前によく抱っこさせてくれました。若い二人の新米パパ、ママぶりがほほ笑ましく久しぶりに楽しい時間を過ごしました。少しおもしろかったのは、「さて、私を何とよばせようか」迷っていること。「おばさん」それとも「おばあちゃん？」

台風接近を気にしながら帰りのバスへ。隣に座った人から「お孫さんですか？」と聞かれたので「えエ、初孫です」と答えておきました。

## 「ことばは世につれ」

きんようよる 金曜夜ボランティア わだ やすひろ  
和田 泰弘

『三省堂国語辞典』が、8年ぶりに改定され第8版としてこの12月に新たに刊行されることになりました。新版では3500のことばが採用され、一方で1700のことばが姿を消します。ほんの一例ですが、バブル時代を象徴するような「スッチー」や「コギヤル」などが消え、「受け子」「ソーシャルディスタンス」「クラスター」「巣ごもり」など、詐欺が横行し、コロナ感染が蔓延する今の世相を映すものが収蔵されます。

「ことば」は世につれ、新しく生まれるものもあれば、消え去っていくものもありますが、一時期、ことばの乱れの代表格としてやり玉に挙がった「ら抜きことば」は、淘汰されるどころか、今や市民権を得ていると言えるでしょう。「見れる」「食べれる」「寝れる」などは、若い人だけでなく大人も日常的に使っています。Ⅱグループの動詞は、「見られる」「食べられる」のように、受身形も可能形も同じで、学習者にはその区別がなかなかむずかしいものです。「見れる」「食べれる」は、可能の意味で使われていますが、Ⅰグループの動詞には、「書ける」「読める」のように可能形があります。元は「書かれる」「読まれる」のように、「ない」形に「れる」をつけるのが一般的で、夏目漱石の小説などには多く登場します。この形は、今ではあまり使われませんが、現在の小中学校の義務教育の国語では使用を認められています。使われない古いことばが消え、「ら抜き」ことばがⅡグループの可能形として認められる日は、やってくるのでしょうか。

ところで、「ら抜き」ことばを題材にした『ら抜き殺意』(永井愛・光文社文庫刊)という戯曲があります。職場で「ら抜き」ことばを乱発する若者に、おじさんが殺意すら覚えるというコミカルな話で、秋の夜長の読書にお勧めの一冊です。

# ひろ ば みんなの広場

## 「東京外大との連携プロジェクトの サポートメンバーと日程のお知らせ」

東京外国語大学 内藤ゼミ (以下外大) との連携プロジェクトのサロン側のサポートメンバーと日程を紹介します。

### サロンサポートメンバー

月曜午前部会 登喜 龍一郎さん  
水曜午後部会 小岩井 雅人さん  
金曜夜部会 仙波 昂さん  
学習者 アニカ ゴデックさん

### 日程(予定)

10月1日(金) オリエンテーション  
11月26日(金) 学生のデータへの意見交換 1回目  
12月17日(金) 学生のデータへの意見交換 2回目  
1月7日(金) 学生による作成発表会、意見交換会

※各日とも12時40分～14時10分、オンライン参加  
学生のデータについてサロンボランティアとの打ち合わせを11月から3月まで毎月1回から2回予定



## 「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」

延期されていましたが、下記の通り実施することになりました。

発表者はオーダヴィアヌ クレモンさん (フランス・月午前)、長久保 まりさん (中国・金午後)、クリス ダフィさん (オーストラリア・金夜) の予定です。

日時：2021年12月4日(土) 午後2時～4時  
受付：午後1時30分～  
場所：3F会議室 (学習会の場所)

詳細は、サロン事務局で聞いてください。

(編集部)

### ～編集後記～

『私のふるさと』で、学習者さんのお国や、ボランティアの皆さんの生まれ育った場所を紹介しています。なつかしい思い出、昔と今のちがいが、見てほしいものやおすすめの料理はありませんか。ひらがなの文、短い文、写真つきなど、好きなスタイルでだいじょうぶです。ぜひ初級の学習者さんにもお声がけください。

その他、お知らせや感想文、クイズやお話を自由に書いてください。お待ちしております。(岩城)

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤 林・和田・岩城・末田・里村

【事務局】 電話：042-352-4178  
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp  
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>